

令和7年度

秩父市立尾田蒔小学校

菊づくり体験



第3～6学年

特色

- 3～6年生の総合的な学習の時間の学習で、ひとり一鉢の菊を育てる取組を行っている。1975年から始まり、50年続く歴史ある栽培活動である。
- 毎年7月から、地域の尾田蒔菊花愛好会の皆様にご指導いただき、定植・支柱立て・芽かき・輪台付けを行う。児童は毎日水やりを行い、11月には色とりどりの大輪の花をさかせる。
- 栽培後には、「菊づくり感謝の会」を開き、手紙をととして感謝の気持ちを伝えている。

児童の感想

- 菊づくりをととして、植物を育てることの大変さがわかった。どんどん茎がのびてつぼみが大きくなり、きれいな黄色花が咲いたのでうれしかった。
- 菊花愛好会の方に、やさしく、わかりやすく教えてもらったので、大きなきれいな菊を育てることができた。

成果

- ひとり一鉢で菊を育てることで、自分の菊への愛着をもち、育てる喜びと楽しさを感じながら栽培活動をおこなうことができた。
- 地域の方に指導をしていただくことで感謝の気持ちをもち、よき伝統を引き継いでいこうとする気持ちも育むことができた。